

みんなで手拍子を！ ハマスタで新応援スタイル

2021/3/19 3:00 | 日本経済新聞 電子版



新シーズンは新たな応援スタイル「YOKOHAMA CLAP」を取り入れる=横浜DeNAベイスターズ提供

横浜港から横浜スタジアムへと続く日本大通りを通り抜ける風も柔らかくなり、待ちに待ったプロ野球が3月26日に開幕します。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため観客数の上限や応援方法の制限などは今季も続きますが、こうして開幕を迎えられることのありがたさを改めて球団スタッフ一同が感じています。

さて、今年の開幕日を本拠地で迎えられるのは2018年シーズン1～3位のチームです。横浜DeNAベイスターズは4位だったため、今年の本拠地での初戦は3月30日の東京ヤクルトスワローズ戦になります。1年の戦いに弾みをつけるべく、毎年、本拠地開幕戦は「OPENING SERIES」と題して気合の入ったイベントを実施しています。

今回はイベント試合の企画・演出などを担当するビジネス統括本部エンタテインメント部イベント企画グループの浦田晃仁に新シーズンへの意気込みを聞きました。

浦田「コロナ禍の前は、初対面でも周囲の人とハイタッチをしたり、肩を組んだり、一緒に応援歌を歌ったりと、選手のプレーに一喜一憂する楽しさを球場全体で分かち合っていました。ところがコロナの影響で雰囲気は一変しました。野球そのものは見ることができても、感情の共有がとても難しくなってしまった。また、ベイスターズは特別な演出をするイベン

ト試合を年間10種類実施してきましたが、先の見通しが立ちにくくなって感染防止の観点からも制約が増えました。イベント試合のあり方について日々悩みましたね」

エンタテインメント部はコロナ対策をしつつ最大限実施できることを模索しました。昨シーズン後半には、選手とファンが同じユニフォームを着て戦う球団の名物企画「YOKOHAMA STAR☆NIGHT」や、女性に楽しんでもらう「YOKOHAMA GIRLS☆FESTIVAL」といったイベント試合の開催にこぎ着けました。



本拠地開幕戦イベントのリハーサルをチェックする浦田氏=横浜DeNAベイスターズ提供

浦田「イベント試合後のお客さまアンケートでは、非常に満足度が高く、『また参加したい』という期待の声をたくさんいただきました。改めてイベント試合を実施する意義を感じることができました」

ベイスターズでは、野球が好きな人はもちろん、球場で野球観戦したことがない人も家族や友人、同僚らと気軽に集まって楽しめる場をつくることを目指した「コミュニティボールパーク化」構想を掲げています。試合に勝っても負けても横浜スタジアムに来て楽しかったと思っていただけるように、花火や音響などを駆使して多彩な演出を行っています。そして、今季は新しい応援スタイル「YOKOHAMA CLAP」で球場を盛り上げていきます。

浦田「コロナ禍でも球場に一体感を醸成できるような取り組みを始められないだろうか。声が出せなくても、CLAP（クラップ、手拍子）ならば誰でも気軽に参加できていいのではないかと部内で話していました。今年1月にベイスターズが開催した『Next Ballpark Meeting スタジアムが一体となる `新、応援スタイルアイデア会議』でも手拍子の活用がアイデアとして出てきましたし、私設応援団からも快くご賛同いただきました。ファンの皆さまの手拍子で選手にエールを送っていただき、ファンとチームが一つになることを狙った新たな応援スタイルです」

「YOKOHAMA CLAP」はシーズンを通して実施していきます。お披露目となる本拠地開幕戦では、ファンの皆さまと一緒にセレモニーをつくり上げていきます。



本拠地開幕戦のイベントでは巨大なステージカーが登場する（17日に行ったリハーサル）＝横浜DeNAベイスターズ提供

浦田「初日の3月30日は特別な演出を行います。試合前セレモニーではファンの皆さまによる手拍子のもと、選手たちを送り出します。合わせて総勢約50名のダンサーたち、シーズンスローガン『横浜一心』をモチーフに装飾された全長約8mのステージカー(移動式ステージ)がグラウンドへ登場して本拠地開幕を華やかに彩る予定です」

「球場にお越しただけでない方にも、本拠地開幕を楽しんでいただくため、仮想現実（VR）空間上で観戦体験やファン同士の交流ができるオンライン企画『バーチャルハマスタ』と連動した演出も行います。球場内のリアルの場で行うセレモニーを中継するだけでなく、バーチャル上ならでの演出も加わります。リアルとバーチャルをつなげた全く新しい観戦体験をご提供します」

テレビの前、バーチャル空間、球場、どこからでも構いません。手拍子を通じて「横浜一心」をみんなで体現しましょう！手拍子のボルテージが最高潮に達したとき、いよいよ横浜スタジアムで今シーズンの幕が上がります。

（横浜DeNAベイスターズ広報 高橋美絢）

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.